

車両の概要

京王線

9000系

2001(平成13)年に登場した、京王線の最新車両です。最新式のVVVFインバータ制御装置や、8000系よりさらに軽量化されたステンレス車体の採用により、一層の省エネルギー化が図られました。車内は、ドア上部に次の停車駅などを文字でお知らせする車内案内表示器やドアチャイム、車いすスペースを設置するなどバリアフリーに対応した車両となっています。また一部の車両では自動放送装置の搭載や車内案内表示器に液晶ディスプレイを採用するなど、さらなるサービスの向上を図っています。なお、一部の車両は都営新宿線にも乗り入れています。



在籍車両数 264両

8000系

1992(平成4)年に登場した、約20年ぶりのフルモデルチェンジ車両です。当社で初めてVVVFインバータ制御装置を採用したほか、軽量ステンレス車体構造や機器のコンパクト化による軽量化など、従来車両と比較して大幅な消費電力

の削減を実現しました。車内案内表示器やドアチャイム、車いすスペースの設置などバリアフリーに対応した車両となっています。



在籍車両数 244両

7000系

1984(昭和59)年に登場した、京王線初のステンレス車両です。当初は界磁チョップ制御車両でしたが、リニューアル工事にあわせてVVVF車両に改造するとともに、車内案内表示器や車いすスペースを新設するなど、省エネルギー化、バリアフリー化に配慮した車両へと順次生まれ変わっています。



在籍車両数 190両

井の頭線

1000系

1996(平成8)年に登場した、井の頭線初の大型20m4扉車両です。井の頭線で初めてVVVFインバータ制御装置を採用し、従来車両と比較して大幅な消費電力の削減を実現しました。車内は、ドア上部に次の停車駅などをお知らせする車内案内表示器やドアチャイム、車いすスペースを設置するなどバリアフリーに対応した車両となっています。さらに一部の車両では車内案内表示器に液晶ディスプレイを採用するなど、さらなるサービスの向上を図っています。なお3000系より採用しているレインボーカラーを継承しています。



在籍車両数 145両

3000系

1962(昭和37)年に登場した当社初のステンレス車両です。先頭車正面の上半分を編成ごとに異なる7色に塗り分けたレインボーカラーを初めて採用し、井の頭線のイメージを確立しました。最盛期には145両を数えましたが、1000系への置き換えに伴い、間もなく姿を消す予定です。



在籍車両数 10両

井の頭線車両のレインボーカラー



左から ブルーグリーン、アイボリーホワイト、サーモンピンク、ライトグリーン、バイオレット、オレンジベージュ、ライトブルー